



Subaru

男声合唱団 ニュース№701

19. 8. 15

「昴」第19回総会を開催！

8月11/12日

昴20周年記念・13回コンサートの成功と1年間のうたごえの諸活動の活躍を期して！

□8月12日(月)9:00~12:00大阪市立青少年センターにて、昴第19回総会が開催されました。昴の2018年度の活動の総括と、これから1年(2019年8月~)の活動方針等を決める会議となりました。総会の参加者は32名でした。

総会に先立ち、前日の夕食後、19:30から約2時間半、懇親会を開き、日頃の昴の団員の健闘をねぎらい、今後の活躍を期して乾杯し、多くのメンバー出席のもと、なごやかな懇談のひとつきを持ちました。

また、総会后、13:00~16:00昴定例レッスンが行われました。13回コンサートの成功を目指す本格的なレッスンの幕開けのレッスンが始まりました。参加者は全31名でした。

1年の活動をまとめ、これからの活動指針を決め、また英気を養い、団員交流を深め、そしてレッスンを開始する1泊2日の合宿総会となりました。



□活発な討論の総会

□まず最初に千秋団長から開会の挨拶を兼ねて、「男声合唱団昴創立20周年の年、25周年・30周年を展望できる昴に！」と、次のようなメッセージが出されました。

「今年も総会が元気に開催できること、ともに喜び合いたいと思います。

先の参議院選では、憲法を変えてはならないとの国民の意思が示され、今の政治を変えて行こうという、市民連合と野党共闘も、現有議席を合わせて大きく前進しました。

ここに確信を持ち、第一に、昴は、平和への願い、暮らしへの思い、人間を大切にする心を歌い、みんなと心ひとつに歌っていきましょう。

第二に、昴は2000年に誕生し、20周年を来年迎えます。この間果たしてきた足跡に確信を

持ち、まず20周年記念コンサートを大成功させましょう。

第三に、昴は、30周年を展望する昴にすることです。

このことは、相当みんなの思いが一つにならないと出来ない大きな課題だと思います。放置しておけば、減少衰退します。10年後の展望は今すぐ見えないと思います。そのために先ず5年後の25周年を展望しましょう。75歳の私も80歳まで現役で歌うことをまず目標にします。

みなさんも共に頑張りましょう。そのうえで、80名の団を展望したことを思い出し、一人が一人増やすことを基本に、30周年の土台を5年間で築いていきましょう。そして、もっと広い団体・市民と交流し、男声合唱の中核として影響力が発揮できる合唱団に成長していきましょう。

音楽的にさらに発展していくために、団の量的質的成長が求められています。この総会で、以上3点を大いに議論し、団結して進んで行きましょう。

最後に、団員皆さんの健康を自愛くださいますようお願いいたします。」



□吉岡議長を選出し、配布済みの「第19回総会議案書」に基づき、「この1年を振り返って」の活動報告が立川事務局長から、次に「これからの1年の活動を展望して」としての活動計画が伊藤副指揮者から行われました。

○つづいて各部からの報告が、技術部(伊藤技術部長)、組織部(岡邑組織部長)、広報部(吉川広報部長)から、1年間の活動の現状と成果と課題について、具体的な資料・数値に基づ

いた説明がありました。

○「この1年を振り返って」の活動報告と「これからの1年の活動の展望」についての報告および各部長からの報告を受けて、質疑応答・意見交換が行われました。今後の検討と実施に向けて積極的な意見のやり取り、提案・応答等がありました。

提案・問題点や課題の提起・主な意見のいくつか・・・

①「魅力ある昴のあり方とは？」を考える。

技術的に秀でた合唱団。うまくなる合唱団としての課題を追求している合唱団。2つ目に「技術的について行けず、肩身の狭い思いをしないでよい合唱団。楽譜を読めない・読むのに苦労している団員も楽しく歌える雰囲気。新しい団員を迎えるためにも初心者ハードルの高くない仕組みや手だてをしている合唱団を。合唱団としてのレベルを下げずに、しかしまだレベルの低い初心者のレベルアップを図る手だてをすること。

②うたごえ運動の原点に立ち戻ることの大切さ

楽譜が読めない、歌えない、しかし歌が好き・・・の人を迎え入れる昴にするには、コンクール(合唱発表会)での昴の良さは「音痴の人」も出て、これだけ歌える合唱団だということを訴えること。技術だけを追い求めているのではないことを合唱で示すこと。

③・入団した初心者の方々、楽譜を読めないので入らないという人への対策として、団員がリーダーとなって、「コールユープンゲン(合唱教本)」で、1度から3度くらいまで読めるようにする。先生レベルでは難しいから、技術部レベルでやってほしい。

・初心者が「コールユープンゲン(合唱教本)」で読譜力をつけることは、私の実体験からも賛成です。中学生の合唱部でも、まず「コールユープンゲン(合唱教本)」の練習から入る・・・との情報あり。楽譜が読めるようになり自信がつきます。



④「6. 団員増を！！」に関連して

・年々対外的な演奏活動が昂は減ってきている。昂の演奏を聴いた人が新しい人を誘ってまた聴きにに来てくれる。いろんな層の人に昂の日常の演奏活動を届ける。毎年、合唱発表会とコンサートだけでなく、そこに持っていくために、もっと日常の演奏活動を！全くのボランティア

で、無報酬でやるくらいの気概を持って、敷居を下げて、努力すべきである。「昂は来てもらうのに気が引ける」でなく。それが昂の演奏能力の UP にもなる。「昂の演奏活動の場ないですか？」と営業活動をするくらいにしないと。気軽に知人友人に声掛けをする。団員増や聴く人を増やすためにも。

・「人と人のつながりが過去にはあった。今も現状に合ったそういうつながりを追及することは大事だと思う。

・団員増に関連して、「対外的演奏活動を！」の提案に賛成する。「2015 年上町中学校での演奏活動」はなぜ実現したのか？驚嘆に値する。今もいろんな形で外に出ていく活動は大事だと思う。各地の会合(後援会や 9 条の会・等)積極的に声掛けをして「昂」を売り込んで歌うチャンスを得ることもしては。

・「団員募集」のための「名刺」を団として作り、全員が持つことをする。何かの機会に使う。「演奏活動もします」も入れる？すでに「北部センター合唱団」「おらが町コンサート合唱団」では作って使っている。

・年齢の若い層、働いている人にも参加を！レッスンに参加できる時間の設定を検討して欲しい。
 ・13 回コンサートの第 3 部の 4 曲(「見上げてごらん」「朝露」「ゆらゆら春を」「死んだ男の残したものは」)を「特別団員募集！」でやってみてはどうか？月 1 回の練習でも今からでも間に合うのでは。チラシに出して！技術部・運営委員会で検討して欲しい。

⑤「うたう会」を「団員増を！」と関連付けるなら、女性のお客さんと共に、入団してもらう男性も対象に企画する。コンサートとコンサートの間のボリュームの規模で、年 1 回。コンサートの前段のとりくみとして「ミニコンサート」として位置づける。

⑥「7 役会議(部長会議)」について、質疑応答がありました。「この件は、運営委員会で議論してもらおう。検討課題としたい」と議長からの提案がありました。

○吉田財政部長から「第 18 回総会以降の財政収支報告」(2018 年度決算報告)があり、佃・鈴木 会計監査より、「2018 年度会計監査」について(2018 年度決算報告)が正確であるとの監査報告がありました。なお、財政部長からは、「第 12 回コンサートの決算(いずみホール)」と「次年度予算と見直しについて」(予測)概算説明書の報告も行われました。

□立川事務局長より「2019 年度役員体制(案)」に基づき、次期役員体制の提案・報告が行われ、2・3 の質疑のやり取りがありました。

□以上、長時間の報告・質問・意見提案等の討議のあと、

1. 「過去 1 年間の活動報告」「これから 1 年間の活動方針」「技術部・組織部・広報部等各部からの報告」

2. 「財政報告と会計監査報告」

3.「次期役員 の提案」 のそれぞれを、挙手により満場一致で承認し、新年度の活動も新たに、総会の幕を閉じました。

最後に「議長解任」をおこない、「閉会の挨拶」を山本副団長が行いました。

□和やかな懇親会(11日)

千秋団長から、乾杯の音頭と挨拶があり、日頃の厳しい練習の合間、みなさん年相応に結構忙しい毎日の生活から離れ、用意されたビールを飲みかわしながら、たのしい歓談のひとつときをすごしました。更家さんと吉田さんにいろいろとお世話いただいた酒肴の馳走にのどを潤し、昴の活動での日頃の思いや日常生活について、一人一人語っていただきました。



20周年コンサートの成功をめざして！総会後の第1回目の定例レッスン！！

□総会合宿の2日目 8月12日(月・休日) 13:00~15:30、同会場にて定例レッスンが行われました。本並先生の指揮で、「昴はうたう」(改訂版)を、訂正箇所を楽譜で確認しながら歌いました。(「昴はうたう」は「方正の青い空」とともに(千秋昌弘作詞・森二三作曲)、9月22日(日)「大阪合唱発表会(創作の部)」で昴が出演し合唱します。しっかり練習をし、創作の部でも推薦を受けれるようレッスンに励みましょう。)

引き続き、「懐かしきケンタッキーの我が家」「草競馬」「日々草」と続けました。フォスターの2曲は13回コンサートの「世界のうた」の新曲。特に「草競馬」はテンポの速い、リズムカルな曲。各パートがそれぞれ責任をもって音程と言葉を合わせて行く、途中で転調して掛け合って歌い合わせる名曲。今日は、まずイメージをつかんで一通り通し練習し、つぎに詳細に入っていく段階。各パート毎に責任をもって歌えるように練習に励みましょう。

休憩をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で、「見上げてごらん夜の星を」「U Boj」「死んだ男の残したものは」をレッスンしました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全31名でした。

連絡事項：近日中に(次回以降)「道」「ゆらゆら春」の2曲を練習します。楽譜を必ず持ってきてください。なお、13回コンサート曲はほぼ決まりました。持っていない楽譜は吉田さんまで申し出てください。

